**第１８回　秋田県特別支援学校総合体育大会**

**「フライングディスク競技」実施要項**

**１　日　　時**　　　令和元年　９月２０日（金）１１：３０～１５：００　※競技時間は７／１７会議で決定

**２　会　　場**　　　県立中央公園　球技場B面

**３　競技内容**　　　・アキュラシーによる個人戦とする。

・ディスタンスによる個人戦とする。

**４　競技規則**　 ２０１９年度全国障害者スポーツ大会競技規則及び秋田県特別支援学校総合体育大会申し送り事項による。

**５　監督会議**　　**１０：５０　本部前**

**※**各校各学部１名出席する。監督会議にて、競技ゼッケンの配付をするため、これを受付に代える。

**６　競技細則**

**◆アキュラシー種目◆**

（１）区分

　　　「小」「中」「高」の３区分とし、障害種によるクラス分け、性別によるクラス分けはしない。

（２）競技種目

1. ディスリート・スリー：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を３ｍとする。
2. ディスリート・ファイブ：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を５ｍとする。

（３）競技方法

 ①　試技は１０投連続して行う。

1. 投げ方は自由とする。
2. 競技上有利となる用具の使用は認めない。
3. プレーヤーが視覚障害者の場合は、競技役員がアキュラシーゴール後方３ｍの距離から電子音によってアキュラシーゴールの中心部の位置を知らせることができる。
4. 試技の時間は、プレーヤーが１投目のディスクを受け取ってから５分とする。５分をこえた試技は無効とする。
5. 得点

得点は、ディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。逆方向から通過した場合は得点とならない。

1. 順位の決定
2. 順位は得点の多さで決定する。
3. 同得点の場合は、第１得点を先に挙げた者を上位とする。第１得点が同じ場合は、順次、得点を先に挙げた者を上位とする。
4. ②の方法によって１位、２位、３位が決定しない場合は、１セット（３投）の再投（追加試技）を行い得点の多さで順位を決定する。ただし、４位以下の者で同得点の場合は、再投は行わず、同順位とする。
5. ③の方法によって再投を行った結果、同得点となり１位、２位、３位が決定しない場合は②の方法によって順位を決定する。
6. 再投は３位が決定するまで、最大５セットまで行う。
7. ⑤の方法によっても順位が決定しない場合は、同順位とする。
8. 反則

　　　試技中に身体の一部や補装具（椅子等を含む）がスローイングラインのプレーヤー側の側面以外に触れたとき。またはスローイングラインを踏み越えたとき。

　　　ただし、フットレストがスローイングラインの上方空間に出ることは反則としない。

　　　反則のあった試技は１投の試技とみなすが、得点は無効とする。

**◆ディスタンス種目◆**

（１）区分

 次の４つの区分に分けて行う。（それぞれの区分内で中学部、高等部ごとに組み分けする）

1. 座位女子（レディース・シティング）
2. 座位男子（メンズ・シティング）
3. 立位女子（レディース・スタンディング）

④ 立位男子（メンズ・スタンディング）

（２）競技方法

①　プレーヤーはスローイングエリア内で試技しなければならない。

②　プレーヤーは試技の前に１投の練習をしなければならない。練習用ディスクは競技用と同規格のもので、色は黄色とする。

1. 試技は３投連続して行う。
2. 投げられたディスクの有効範囲は、競技フィールド前方180°とする。
3. 距離の計測は、スローイングラインの中央の計測点から、ディスクが最初に触れた点までとする。
4. 投げ方は自由とする。
5. 競技上有利となる用具の使用は認めない。
6. 試技の時間は、プレーヤーが１投目のディスクを受け取ってから３分とする。３分をこえた試技は無効とする。
7. 座位で競技する場合のシートの高さはクッションを含め７５㎝以下とする。

（３）記録

　　①記録は、３投の試技で最も距離の遠い着地点を計測する。

　　②計測は㎝単位とし、１㎝未満は切り捨てる。

（４）順位の決定

　　同順位の場合、１位、２位、３位は１投の再投（追加試技）により決定する。再投は順位が決定するまで行う。４位以下の者が同記録の場合は、再投は行わず同順位とする。再投の記録は公式記録としない。

（５）反則

　　①　スローイングエリア内から助走をしたとき。

　　②　その他のスローイングに関する反則は、アキュラシーと同様に扱うものとする。

**７　エントリーについて**

　・ディスリート・スリーに出場する選手は、【様式１－①アキュ３】を使用する。【様式１－①アキュ３】は**学部ごと用紙を分けて記入**する。

　・ディスリート・スリーに出場する選手は、ディスタンス競技に出場することはできない。

　・ディスリート・ファイブのみに出場する選手は、【様式１－②アキュ５】を使用する。【様式１－②アキュ５】は**学部ごと用紙を分けて記入**する。

　・アキュラシー、ディスタンスの２種目に出場する選手は、中学部・高等部合わせて各校から７名までとし、【様式１－③アキュ・ディス】を使用する。また、【様式１－③アキュ・ディス】には「全国障害者スポーツ大会に出場を希望するか、しないか」についても記載する。なお、希望しても必ず選手に選考されるとは限らない。（主たる障害が精神障害の場合は、全国障害者スポーツ大会に出場できない）

　・その他、様式１には必ず必要事項を必ず記入する。

　・**ディスタンス種目に出場する選手は、アキュラシー５ｍにもエントリーすることになるので、申込は【様式１－③アキュ・ディス】にのみ記入する。**

**８　介助等について**

　・プレーヤーの状況により、集合場所から各サイトまで引率が必要な場合は各エントリー表の備考欄に「介助」と明記する。（「移動」の介助であり「競技」への介助を行うことができない。）

　・介助者は、スローイングエリアに立ち入ることはできない。同時にプレーヤーへの指示や技術的な指導、競技上有利になるようなアドバイスはすることができない。

　・プレーヤーが視覚障害者の場合、競技状況を知らせるための介助者をスローイングエリアに１名同行することができる。アキュラシーの場合、介助者が伝えられるのは投げる**方向、通過・不通過の状況だけ**で技術的な助言等は行ってはならない。ディスタンスの場合、伝えられるのは、**投げる方向、ディスクの飛行状況だけ**で技術的な助言等は行ってはならない。アキュラシー、ディスタンスいずれの場合も度重なる介助者の違反については退場を命じられることがある。

　・その他、介助者は各サイトの審判に従う。

**９　欠席者について**

・９月１７日（火）までに欠席が分かっている場合は、欠席の旨を専門委員長に届け出る。

・９月１８日（水）から大会当日の欠席は、本部前に設置してある欠席届に記入して監督会議前に本部に届け

出る。（欠席届は、アキュラシー種目、ディスタンス種目それぞれの様式に記入する。）

**１０　その他**

　・補装具は、身体の一部とみなされる。

　・雨天決行とするので、参加各校で雨具などの準備をする。

 ・晴天時の水分については、各学校で準備する。プレイエリアでの水分補給は控える。

　・体調不良時やけがの場合は近くの専門部員や審判に申し出る。

　・撮影は撮影エリアで行うこととし、介助者の介助しながらの撮影は認められない。